

事業所名

東京都立東部療育センター

支援プログラム

作成日

令和 7 年

2 月

6 日

法人（事業所）理念		1. 生命を脅かし機能の低下をきたす状態の克服に向けて最善をつくします 2. ご本人一人ひとりの思いに応えるよう療育の工夫を尽くします 3. 提供するサービスの目的と内容をご本人やご家族と十分に話し合い理解して頂けるように努めます 4. 地域との交流を通じ、障害のある人もない人も共に支えあう地域づくりに努めます		
支援方針		医療的ケアが必要であるなど障害の程度が重度である方を対象に、集団療育を通じて「そのお子様らしい力」を発揮して日々の生活がより充実したものとなるよう様々な療育活動を展開していきます。 ご家族にとっても、他のご家族との出逢いや交流の場となるように支援します。 集団療育の中で個別性に配慮した課題をご家族と施設が共有し、個別支援計画に基づいた療育をチームで実施します。		
営業時間		8 時 30 分から 17 時 15 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	来所時に医師・看護師が健康状態を確認します。活動中は支援員・看護師は体調面をきめ細やかに観察し健康状態を把握します。 医療的ケアは、原則ご家族にお願いしますが、必要時適切な看護・医療ケアを提供します。 多職種が連携し個々のお子様に合わせてリハビリテーションを行います。		
	運動・感覚	発達段階にあわせて運動感覚遊び・リズム遊び・感触遊びなど親子で楽しむ工夫をします。 体調・活動など場面に合わせた姿勢を工夫し、安定した姿勢がとれるように支援します。		
	認知・行動	視覚・聴覚・触覚など色々な刺激を体験し経験の幅を広げます。 遊びの中から興味・関心があることを模索し、認知や行動の手掛かりとなる概念の形成を促し期待感や要求表現・行動に繋がれるように支援します。		
	言語 コミュニケーション	ご家族以外の他者との関わりの中でより経験の幅を広げ、他者とのやり取りを楽しめる機会を作ります。 自分の気持ちを伝える方法を学び、他者とやりとりできるように支援します。		
	人間関係 社会性	季節に合わせた行事・活動を行います。 グループによる療育指導を行うことで大人や他者との関わりの経験を増やしていきます。 遊びを通して人と関わる力を育み社会性の発達を促します。		
家族支援		より良い療育を実現するために、保護者とお子様と1対1で密にかかわる時間を持つように支援します。お子様の成長を感じられること、お子様に安定した健康状態で療育活動に参加して頂くこと、療育活動を通して保護者と共にお子様を理解し共に育てていくことを大切にします。	移行支援	ご家族との連携・ご協力をいただきながら、療育を進めていきます。地域の学校と連携をとり卒園後を見据えた取り組みを行います。 学校見学・療育場面見学・教職員見学実習等
地域支援・地域連携		住み慣れた地域での生活を続けられるよう、ご本人及びご家族の相談や支援をしていきます。地域の施設・学校・医療機関などと連携しながら地域生活を支援していきます。	職員の質の向上	院内研修・派遣研修に積極的に参加し、職員の質の向上に努めています。 「個別支援計画質監査」「感染予防対策研修」「医療安全研修」「虐待防止研修」「重症心身障害児者に係わる職員のためのチェックリスト」「急変時対応」等
主な行事等		4月：入園式 5月：端午の節句種まき 6月：七夕 7月：運動会 8月：夏祭り、水遊び 10月：プール、ハロウィン 11月：収穫 12月：クリスマス 1月：書初め 2月：節分 3月：ひなまつり、卒園式		